

想定最大規模洪水を踏まえた浸水時においても災害対応を継続するための庁舎等施設の改修検討 (自家発電装置等の耐水化など)

取組No	大和川	45	紀の川	45	熊野川	-	木津川	11
------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	----

取組機関	日立市	連携機関	なし
------	-----	------	----

◎日立市庁舎安全対策計画

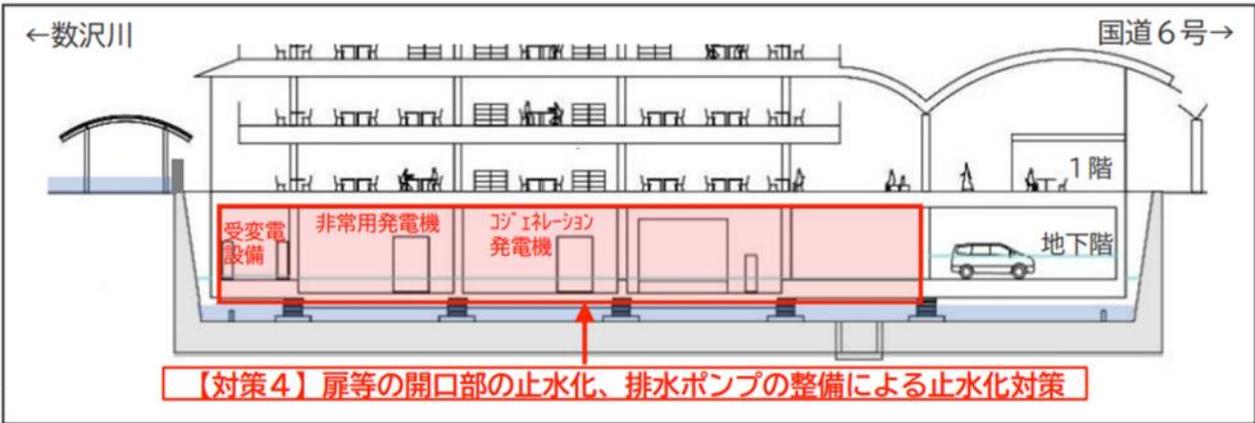
本計画は、水害時における市役所本庁舎(以下「庁舎」という。)機能の継続を図るため、令和5年台風第13号に伴う線状降水帯による豪雨災害を教訓とし、庁舎の浸水対策の現状と課題、国のガイドラインや流域治水の考え方などを踏まえ、庁舎安全対策の基本理念及び浸水対策の在り方を定めるものです。

計画の期間: 令和6年9月から令和9年3月までのおおむね3か年

計画の目標: 国が定める1時間当たり153ミリメートルの国内最大級の豪雨による浸水リスクに加え、今後の気候変動を考慮して10%割り増した168ミリメートルの降雨に対しても、庁舎機能を継続することを目標とします。

庁舎安全対策の体系

- 1 河川の溢水対策
- 2 庁舎外周の止水壁等整備
- 3 電源設備の復旧位置の検討
- 4 庁舎地下階の止水化対策
- 5 庁舎業務継続計画(浸水対策編)の策定方針



【出典】 日立市HP 日立市庁舎安全対策計画 <https://www.city.hitachi.lg.jp/shisei/johokokai/1011957/1014068.html>

想定最大規模洪水を踏まえた施設浸水を想定したBCPの検討

取組No	大和川	46	紀の川	46	熊野川	-	木津川	-
------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---

取組機関	中部地方整備局	連携機関	浜松商工会議所
------	---------	------	---------

◎取組概要



【天竜川水系天竜川】
企業BCP(水害版)作成支援の取組

主な関係機関
浜松商工会議所

浸水被害の軽減・早期復旧を図るための取り組みとして、浜松市の地域経済を支える浜松商工会議所の所属企業を対象に、**企業BCP(水害版)作成支援の勉強会を開催し、約15社の作成支援を行いました。**

【開催概要】

■会場：浜松商工会議所 10階BC会議室(第1部のみWEB併用)

■参加者：(第1部)浜松商工会議所所属企業 64名(会場11名 WEB53名)
(第2部前半)浜松商工会議所所属企業 18名(15社)
(第2部後半)浜松商工会議所所属企業 18名(15社)

回	テーマ	プログラム概要
第1部 勉強会 令和3年 11月1日(月)	水害リスクを理解しよう リスクを知る	・全国災害状況など ・浜松の災害 ・河川管理者の仕事説明 ・流域治水の取り組み説明 ・水害リスクとハザードマップの読み方 ・いまからできる企業の備え
第2部 勉強会 (前半) 令和3年 12月1日(水)	水害リスクに備えよう リスクを考える	・企業BCP(水害版)作成支援ツールを活用したBCP作成の手順説明 ・ワークショップ①：自社の水害リスクを踏まえた人命を守るための対策を考える(個別ワーク)
宿題		参加企業には、第3回勉強会までに、重要業務を確定
第2部 勉強会 (後半) 令和3年 12月16日(木)	BCPを深めよう リスクに気づく	・ワークショップ②：重要業務の継続に必要な資源(人・物・情報)・BCP体制の被害想定と事前対策等の設定(個別ワーク) ・グループで各企業の対策について意見交換(グループワーク)

「主催：浜松商工会議所・遠州流域治水協議会」の**連携開催**を実施



〈第1部〉
浜松商工会議所会場とWEBを併用し、水害リスクや企業の備えについて国土交通省 浜松河川国道事務所から説明を行いました。また、ハザードマップに係る質問等があり、**防災に関する基礎知識を学習**しました。



WEBでも配信

国土交通省
浜松河川国道事務所から説明

〈第2部(前半)〉
企業BCP(水害版)支援ツールを用いた企業BCP(水害版)の作成やハザードマップを使用し、**自社の想定浸水深など検索を行い浸水の危険性を把握**したうえで、企業BCP(水害版)を作成・検討いただきました。参加社からは、**初めてハザードマップを閲覧操作した**などの感想を頂きました。



水害CP作成状況

〈第2部(後半)〉
第2回前半での課題を参加社がもちより「重要業務の選定」から検討を行い**企業BCP(水害版)を作成**しました。
後半には、各企業(参加社の業種はサービス・通信・製造など)の**企業BCP(水害版)検討状況を、ワークショップ形式で意見交換**を行い、他社の取り組み状況を共有することにより水害に対する意識がより向上しました。



ワークショップの状況

【参加者の声】
ワークショップでは、参加者の皆様から以下のような感想をいただきました。
・まずはできることは何かと考え、**準備出来るものから対策したい**と思います。
・**具体的に対策すべき事がわかり、社内に浸透させていけそう**です。大変勉強になりました。

勉強会の開催により、参加者が洪水リスクへの具体的な対策を把握・検討することができ、参加した約15社において企業BCP(水害版)が作成され、**流域治水の「被害の軽減、早期復旧・復興のための対策を促進**しました。

【出典】中部地方整備局館内 | 流域治水プロジェクト (令和4年2月)
https://www.cbr.mlit.go.jp/ryuiki_chisui/data/zireisyuu_202202.pdf

重要水防箇所の情報共有と関係市町等との共同点検の実施

取組No	大和川	47	紀の川	47	熊野川	37	木津川	42
------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

取組機関	関東地方整備局 京浜河川事務所	連携機関	なし
------	-----------------	------	----

令和5年度『多摩川・鶴見川・相模川共同点検』実施状況



○延べ265人(内地元住民53名)の関係自治体・水防団(消防団)及び地元住民にご参加頂き、より多くの参加者の水防災意識を高めていく機会となりました。今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に十分留意しながら行いました。
○今後も、沿川の皆様からの意見をお聴きしながら、取り組んでまいります。



	日時	点検河川	対象自治体	出席人数(内地元住民)	
①	令和4年度6月5日(月)	午前 鶴見川 午後 鶴見川・早瀬川	新横浜出張所管内 新横浜出張所管内	横浜市・川崎市 横浜市・川崎市	33名 24名(2名)
②	令和4年度6月7日(水)	午後 多摩川	田園調布出張所管内	大田区・世田谷区・川崎市	48名(13名)
③	令和4年度6月9日(金)	終日 多摩川	多摩川上流出張所管内	八王子市・国立市・立川市・昭島市 あきる野市・福生市・羽村市・青梅市	71名(20名)
④	令和4年度6月12日(月)	午後 浅川	多摩出張所管内	八王子市・日野市	8名(1名)
⑤	令和4年度6月14日(水)	午後 相模川	相模出張所管内	平塚市・茅ヶ崎市・寒川町	24名(4名)
⑥	令和				

【出典】京浜河川事務所 | R5. 6. 5-R5. 6. 16実施 多摩川・鶴見川・相模川共同点検の概要
https://www.cbr.mlit.go.jp/ryuiki_chisui/data/zireisyuu_202202.pdf

排水施設等の検討・整備

取組No	大和川	52	紀の川	48	熊野川	42	木津川	11
------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

取組機関	三重県亀山市 京都府木津川市	連携機関	国土交通省、京都府 (取組機関・京都府木津川市)
------	-------------------	------	-----------------------------

◎取組概要

・近年、ゲリラ豪雨の多発化や台風の巨大化により、浸水被害のリスクが増大している。この状況を受け、都市下水路の底張りコンクリート施工を実施し、水位警報機の動作確認などの防災訓練を住民と協力して行うなど、浸水対策に力を入れている。

・淀川流域治水プロジェクトに既設排水ポンプ施設の機能増強を位置づけ、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、整備を推進している。



底張コンクリート



竜川水位警報機点検

木津川市による既設排水ポンプ施設の機能増強
(160m³/min⇒440m³/min)により、
小川・反田川流域における浸水被害軽減

工事状況

小川内水対策事業



【出典】国土交通省_流域治水優良事例集 https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/gaiyou/panf/sesaku/index.html

排水設備の耐水化の強化

取組No	大和川	53	紀の川	49	熊野川	-	木津川	11
------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	----

取組機関	愛知県岡崎市	連携機関	(住民)
------	--------	------	------

◎取組概要

・被害対象を減少させるための対策として、「止水板等設置工事費補助制度」を創設した。市街化区域内にて浸水実績及び氾濫解析により浸水被害の恐れのある建物に止水板等を設置する市民に対し補助金を交付することで、浸水被害の防止又は軽減を図っている。

リーフレットの配布

補助制度について

- 1 対象建築物 市街化区域内の、過去に浸水被害を受けた、又は実績・氾濫解析により浸水のおそれのある既存の建物※対象の建築物は対象外となります。
- 2 対象者 止水板の設置を行う、対象建築物の所有者及び使用者
- 3 対象工事 止水板の設置及び、止水効果を高めるために行う関連工事
- 4 補助額 対象工事に要した費用の2分の1 (上限50万円)

手続きの流れ

- 1 交付申請 交付申請書に必要書類を添えて提出してください。
- 2 交付決定 ①の書類を審査し、結果を通知します。
- 3 工事着手 工事は必ず交付決定後に着手してください。
- 4 実績報告 工事後、実績報告書に必要書類を添えて提出してください。※3月末日2金額日までに提出ください。
- 5 完了検査・金額確定 現地で完了検査を行った後、補助金額確定通知書により、確定金額を通知します。
- 6 補助金の請求 請求書を提出してください。
- 7 補助金の支払 補助金の請求後、指定の口座へ振り込みます。※請求があった日から約1ヶ月後の支払となります。

●申請者の手続き ●市の手続き

PRポイント

◎対象建築物に止水板等を設置する工事及び設置に伴う関連工事に係る費用の1/2 (上限50万円) の補助金交付

止水板の設置状況



【出典】国土交通省__流域治水優良事例集 https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/gaiyou/panf/sesaku/index.html

排水設備の耐水化の強化

取組No	大和川	53	紀の川	49	熊野川	-	木津川	11
取組機関	三郷町			連携機関	なし			

◎取組概要

- ・令和4年度より、浸水常襲地域である惣持寺地区において地下調整池(計画貯水量16,500m³)を整備を開始し、R6年度に竣工した。
(平成29年10月台風29号 惣持寺地区浸水実績)→浸水面積約30,000m²、床上浸水11棟、床下浸水14棟。
- ・雨水幹線の排水系統の切替工事をR6年度より実施。
排水区を二つに分けることで浸水の解消を図ります。(R6年度より実施、R7年度完了予定。)
- ・惣持寺地区調整池については、竣工時に地元住民・町内小学生や他府県からの学生の見学会等も実施し、浸水対策事業についての周知の場を設けた。



大規模工場等への浸水リスクの説明 大規模工場等への水害対策等の啓発活動

取組No	大和川	54-1・ 54-2	紀の川	50-1・ 50-2	熊野川	-	木津川	-
------	-----	---------------	-----	---------------	-----	---	-----	---

取組機関	国土交通省	連携機関	なし
------	-------	------	----

◎取組概要

大規模工場や民間企業等に対して、
浸水リスク等の説明会を実施している。

企業防災セミナー
～水災害時における企業の自衛水防促進に向けて～

近年、地球温暖化に伴う降雨の変化等によって水害が頻発しており、企業においても水害への対応が求められています。とりわけ、災害時においても事業を継続し、また仮に被災した場合であっても、円滑かつ早期に事業を復旧するためには、自社のみならず取引先等を含めたサプライチェーン全体で事業継続計画（BCP）を構築することが必要です。

また、本年、水防法が改正され、地域防災計画に定められた大規模工場や倉庫業等の所有者または管理者においても浸水防止計画の作成、訓練の実施等を行うことは努力義務となりました。加えて、これらの取り組みを推進するために、河川管理者による支援体制が整備されています。

そこで、荒川の浸水想定区域内に位置する企業をはじめ、他の区域においても水害BCP作成に取り組もうとしている企業、水防法改正により浸水防止計画を作成しようとしている企業の方々を対象に、水害BCPや水防法等についてのセミナーを開催することとなりましたので、ここにご案内申し上げます。

日時：平成25年12月17日（火） 13:00～15:30
場所：砂防会館別館（東京都千代田区平河町2-7-5、詳細は別紙）
主催：国土交通省 荒川下流河川事務所 東京商工会議所
議事：

1. 主催者挨拶 国土交通省荒川下流河川事務所長	波多野 真樹
2. BCP作成の現状 特定非営利活動法人日本水フォーラム ディレクター	木暮 陽一
3. 水防法改正及び出水時等の情報提供について 国土交通省荒川下流河川事務所 総括地域防災調整官	山口 充弘
4. 東商版BCP策定ガイドの概要 東京商工会議所 地域振興部・まちづくり・観光担当課長	清水 繁
5. 「小規模企業のための身の水害BCP<水害対策版>」の概要 事業継続研究所 代表	京盛 真信
6. 東日本大震災からの教訓 元江戸川区土木部長、(公財)えどがわ環境財団理事長	土屋 信行
7. 質疑	

参加費：無 料
配布資料：東京商工会議所版 BCP策定ガイド
国土交通省版 事業所の水害対策 事業継続計画（BCP）作成のすすめ
小規模企業のための身の水害BCP<水害対策版>パンフレット
申込締切：平成25年12月16日（月）

10. 市町庁舎、災害拠点病院等の水害時における対応

- 水害BCPの策定に向けた検討
- 洪水や氾濫の特性も考慮した内容の氾濫を想定した対応マニュアルの作成
- 大規模工場等への自衛水防に関する啓蒙活動・説明会開催
- 洪水の特性も考慮した内容の自衛水防の市民への周知



水防説明会

【出典】右図 河川対策、流域対策、ソフト対策の共有と検討について
https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000784865.pdf
左図 企業防災セミナー 水災害時における企業の自衛水防促進に向けて
https://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000101154.pdf

⑤電話番号 ⑥メールアドレス を
日本水フォーラム
アライズ第2ビル6階
、近藤

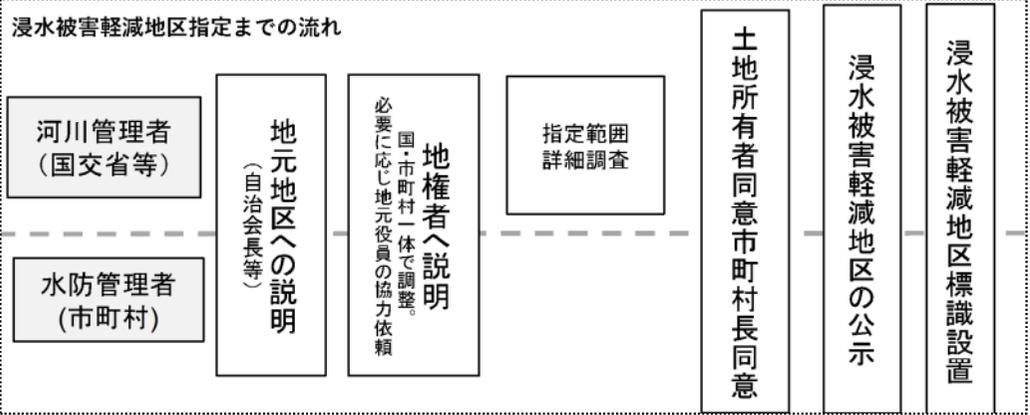
浸水被害軽減地区の検討

取組No	大和川	55	紀の川	51	熊野川	-	木津川	46
------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	----

取組機関	岐阜県輪之内町	連携機関	国土交通省
------	---------	------	-------

◎取組概要

「浸水被害軽減地区」とは洪水浸水想定区域内で、浸水の拡大を抑制する効果があると認められる輪中堤の盛土構造物、自然堤防等を水防管理者が指定し保全を図るものである。浸水被害軽減地区として指定し、浸水被害を軽減する盛土を説明する看板を設置している。



浸水被害軽減地区の看板の設置



【出典】国土交通省__流域治水優良事例集 https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/gaiyou/panf/sesaku/index.html

適切な土地利用の促進、周知

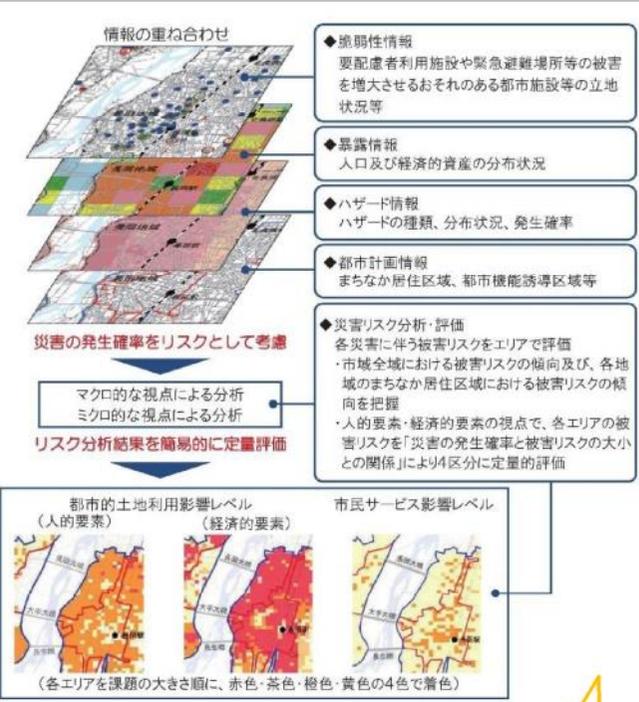
取組No	大和川	56	紀の川	52	熊野川	-	木津川	47
------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	----

取組機関	福岡県久留米市	連携機関	国土交通省、福岡県
------	---------	------	-----------

◎取組概要

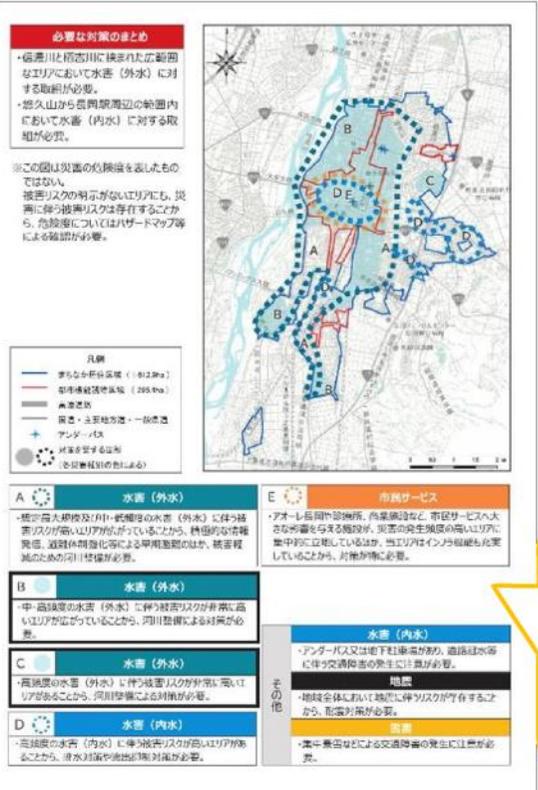
・福岡県久留米市では、令和3年9月に都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画を改正し、防災指針を位置付けた。頻発する水災害に対し、防災・減災対策の取組方針及び地域ごとの課題に即した取組を定めている。居住誘導区域内は地域別のリスク傾向を図上で表現している。

災害リスク分析・評価の進め方(イメージ)



・多段階のハザード情報を参照した全市域のマクロ分析に加え、より詳細な地域レベルのミクロ分析も実施
 ・垂直避難の可能性や家屋倒壊のおそれ、要配慮者利用施設や緊急避難場所等の分布など、脆弱性に関する情報も含めて詳細に分析

地域別のリスク傾向



・災害リスクと必要な取組の方向性を即地的に記載
 ・リスクの高いエリアを图示

防災・減災対策に係る目標値

災害種別	【評価指標】 安全性が高いエリアに居住する人口の割合
水害(外水)	中・低頻度の洪水浸水想定において、浸水深 0.7m 未満となるエリアの居住人口の割合
水害(内水)	高頻度の内水浸水想定において、浸水しない(浸水深 0m)エリアの居住人口の割合
土砂災害	土砂災害警戒区域(イエローゾーン)外及び土砂災害対策が実施された区域の居住人口の割合
地震	地震被害想定による建物全壊率が 50%未満であるエリア及び同エリア外で建て替えられた住宅の居住人口の割合

【出典】国土交通省__流域治水優良事例集 https://www.mlit.go.jp/river/pamphlet_jirei/kasen/gaiyou/panf/sesaku/index.html

小中学校や地域を対象とした災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	五條市			連携機関	なし			

◎取組概要

五條市では小学生を対象に災害対策には「自助」「共助」「公助」の3つあることを伝え、その中でも「自助」の自分たちの身は自分で守ること、「共助」の困ったときはみんなで助け合うことの大切さを説明、避難施設の確認などの防災教育を実施

防災教育実施状況	
令和2年度	1校
令和3年度	2校
令和4年度	3校
令和5年度	3校
令和6年度	6校
※R7.2.5 時点	

防災教育メニュー

- ・紀伊半島大水害の被災箇所等について
- ・過去の災害歴史学習
- ・避難所開設体験(段ボールベッド・トイレの組立)
- ・ハザードマップを活用した学習
- ・マイタイムラインの作成 など

感想等

パワーポイントで実際に写真や資料を見ることやクイズ形式で参加してもらうことで、難しい言葉で説明するよりも伝えたいポイントや災害の様子がイメージしやすかったものと思われる。

また、ハザードマップを初めて見る子どもたちも多いため、自宅や学校、避難所を結ぶ経路にどのような危険箇所があるか学んでもらうことができた。

小学校における防災教育の様子

パワーポイントを使った説明



ハザードマップの確認



小中学校や地域を対象とした災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	香芝市			連携機関	奈良地方気象台			

◎取組概要

市内小中学校の教職員を対象とした学校危機管理(気象災害への対応)に関する研修の実施

- 日 時: 令和6年8月8日
- 主 催: 香芝市危機管理課、学校支援室
- 参加者: 市内14小中学校教職員(校長・教頭)
- 講師: 奈良地方気象台



研修の目的

教職員が、各小中学校の地域特性に応じて、危険箇所の把握や休校判断などができるようになることを目指し、児童・生徒の安全な登下校を確保するため、市防災担当課と学校担当課が合同で防災研修会を実施しました。

研修内容

- ① 奈良地方気象台より講師を招き、市内全小中学校の教職員(校長・教頭)に対し、防災気象情報の解説とその活用方法について講義を行いました。
- ② 防災気象情報について学んだ後、過去に避難情報が発令された大雨時の気象情報を基に、各学校区に分かれて防災マップを用いたグループワークを実施しました。参加者は、児童・生徒の安全を確保するための対応策について話し合い、各班で結果を発表しました。

小中学校や地域を対象とした災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	平群町			連携機関	なし			

◎取組概要

地域を対象とした水害教育等の実施

- 日 時 : ①令和6年5月19日(日)②令和6年9月12日(木)③令和6年10月21日(月)
- 参加機関 : ①平群町 - 光ヶ丘自治会
②平群町 - 平群北小学校
③平群町 - 若井自治会
- 実施期間 : 随時実施

工夫した点

- ③ 用語を小学生(4年生48名)にわかる内容に簡単に水害から身を守るための防災学習を実施した

小中学校や地域を対象とした災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	吉野町			連携機関	なし			

◎取組概要

町内各地区での防災学習会の実施

- 日 時: ①令和6年6月30日 ②令和6年7月21日 ③令和6年9月23日
- 実施場所: ①轟地区 ②左曽自治会 ③山口自治会
- 内 容: 能登半島地震から学ぶ防災対策について

左曽地区における防災学習会の様子



工夫した点

- ①石川県穴水町での(R6.2.25~R6.3.4)の罹災業務発行業務支援の際、見聞きした現場の状況や被害を受けられた方々、職員の方々の苦悩等について、資料を用いて説明
- ②自助・共助・公助の役割について説明した上で、平時から備えておくべきもの、体制について各地区で考えていただけるよう方向付けるように説明
- ③マイタイムラインの例や備蓄品(災害時に備えておくると便利なもの)等を紹介

小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	五條市			連携機関	なし			

◎取組概要

五條市では平成23年9月の紀伊半島大水害を風化させないために、これからの将来を担う子どもたちへ災害の恐ろしさや災害から学んだ教訓を継承しています。

▼内容

- ・五條中学校・五條小学校・五條南小学校の生徒を対象に令和6年8月27日に災害発生現場で防災教育を実施。
- ・実際に災害対応を行った元市職員から話を聞き、被災地(五條市大塔町 宇井地区)を見学。
- ・自分たちが住んでいる地域を舞台にハザードマップを活用し、マイタイムライン作り訓練を実施。
- ・段ボールベッド等の組立を通した避難所体験を実施。

▼感想等

実際に被災地を視察し、復旧された現在と当時を見比べてもらった。机上で学習するよりも被害の規模や復旧復興までのイメージが湧き、より一層の理解を深めれたと思われる。防災教育を受けた学生たちからも色々な質問が出て熱心さが伝わってきた。マイタイムライン作りでは、自宅や学校、避難所を結ぶ経路にどのような危険箇所があるか確認できたことに加え、早めの避難の重要性や事前にできる取り組みについて学んでもらうことができた。

防災教育の様子



平時からの住民への周知・教育・訓練に関する取り組み

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

取組機関	奈良県宇陀市	連携機関	なし
------	--------	------	----

◎取組概要

ブルーシート(災害への備え、避難計画)」の作成

全市民作成を目指し、自主防災組織や連合自治会等の防災講話で、当該地域のハザードマップを拡大詳細にして浸水害や土砂災害の危険を周知し、必要な備えを伝え、それぞれの避難計画を作成する。また、自宅に持ち帰り、家族と話し合っ、さらに詳細な避難計画を家族単位で話し合いしていただく。

表面

災害への備え(避難計画) 2024年10月1日作成
※この計画は、災害に備えて事前準備と避難行動を個人が作成します。作成後は普段から目に付く場所に保管ください。

氏名	ウダ タロウ	固定	0745-82-0000
住所	宇陀 太郎	携帯	090-XXXX-XXXX
生年	〒 810-0000	生年月日	1964年 1月 1日
性別	男	年齢	60

1. 自宅周辺の災害リスクの確認
(1) 洪水浸水想定区域 口はい いいえ / (2) 土砂災害(崩壊)警戒区域 口はい いいえ

2. 想定される被害リスクの確認
(1) 自宅の耐震性 口あり なし / (2) 自宅周辺の地盤調査 口つよい やわい

3. 避難のタイミング
(1) 避難スイッチ1 予知等で自宅周辺に避難物(食料等)を準備開始(警報レベル3)がされた。
(2) 避難スイッチ2 地域の自主防災会から立ち退き避難の指示がでた。
(3) 避難スイッチ3 自宅周辺の危険から上の警報による退避が指示された。

緊急連絡先は、できる限り事前に連絡が取りやすい連絡先を記入し、家族全員が確認できる場合でも、それに代わる方がおられる場合は記入する。

避難時に声などを掛け、一緒に避難を決めている人。

氏名	住所	連絡先	続柄
緊急時 一郎	奈良市〇〇	電話 090-XXXX-XXXX	長男
緊急時 三郎	宇陀市〇〇	電話 0745-82-XXXX	妻
避難時 次郎	宇陀市〇〇	電話 0745-82-XXXX	個人
避難時 三郎	宇陀市〇〇	電話 0745-82-XXXX	親戚

指定避難場所 指定避難所 指定避難所

心身の準備 心身の準備

自主避難所1 自主避難所2 自主避難所3

宇陀 一郎(長男) 〇〇集会所

自宅 = 自宅用車 = 国道45号線 = 宇陀 一郎宅 徒歩〇〇分
自宅からの防災時間 約30分

自宅から避難するまでの避難経路が書きやすい地図、ハザードマップなどで作成したものを家族か、避難経路の危険な点を記入しても構いません。

会費集約券アプリ QRコード
Android QRコード

裏面

非常持出品/備蓄品 (2024年10月1日作成)

1. 非常持出品

- 非常食
- 飲料水
- 携帯ラジオ(予備の電池)
- 懐中電灯(予備の電池、電球)
- ヘルメット
- ナイフ、包丁、鉗子
- ティッシュ(ウェットタイプ含む)
- ビニール袋
- 上着・下着
- 貴重品(現金、運転免許証、健康保険証のコピーなど)

その他の必需品

- マスク
- アルミコル消毒薬
- 口拭きシート
- 手袋
- LEDランタン(予備の電池)
- タオル
- ライター、マッチ、ろうそく
- ロライター、マッチ、ろうそく

2. 備蓄品

- 食品(乾パン、缶詰、レトルト食品、ドライフルーツ等加熱せず食べられる物)
- 飲料水(一人当たり1日3リットル / 備蓄量 42リットル)
- 簡易トイレ
- LEDランタン(予備の電池)、ろうそく
- マスク
- 口拭きシート
- アルミコル消毒薬
- 簡易トイレ(卓上コンロ、簡易トイレ、予備ガスボンベなど)
- 口拭きシート(歯ブラシ、石鹸、タオル、ドライシャンプーなど)
- 簡易トイレ(簡便、薬品、薬コップなど)
- 懐中電灯(カイル、簡便など)
- 予備の懐中電灯、予備の懐中電灯
- 毛布、タオルケット、寝袋など
- 口拭きシート(手紙に合わせて入れ替える)
- 口拭きシート
- マスク
- アルミコル
- 口拭きシート(ロープ、ボール、スコップ、カッターなど)
- 文具類(筆記用具、ノート、フェルトペンなど)
- 口拭きシート

その他の必需品

- レインウェア上下3組
- 土のう袋 30枚

宇陀市ハザードマップ QRコード
宇陀市タイムライン QRコード

自分自身や家族が避難行動要支援者で高齢者などではない。
※自己に必要な物が不足していないかを確認する。

◆工夫した点

64歳以下の市民向けに「ブルーシート」と称して、避難行動要支援者個別避難計画に合わせてマイタイムライン(個別避難計画)を作成いただく。将来的に高齢者などの個別避難計画に移行でき、自分だけでなく、家族も巻き込んだ防災意識の高揚につながる。

◆取り組みによる効果

取組内容の工夫点・課題・留意点
高齢者等の避難行動要支援者に関する個別避難計画作成が難航する中、若い世代からマイタイムライン(個別避難計画)を作成いただくことで、将来的に高齢者などの個別避難計画に移行できる。また、自分だけでなく、家族も巻き込んだ防災意識の高揚につながる。

小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	十津川村			連携機関	なし			

◎取組概要

防災対策を主題とした地区別懇談会を開催

- 日 時:令和6年7月25日～10月10日
(地区別に合計9回実施)
- 対象者:全村民
- 内 容:地区防災計画の策定に関する案内、促進
防災倉庫について
防災訓練の実施について

懇談会の様子



工夫した点

- ①令和6年能登半島地震の状況について現地で実際に支援を行った職員が当時の状況を説明した。また日向灘の地震により発表された南海トラフ地震臨時情報から、災害への備えと村での対応について説明し、改めて自助・共助の重要性について触れ、地区防災計画の策定を促した。
- ②蓄電池やガス発電機等の展示、紹介
- ③様々な内容の訓練を例に、防災訓練の実施について呼びかけた。

小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	天川村			連携機関	なし			

◎取組概要

開催日時:令和6年7月8日(月)
対象者:天川小中学校4年生~9年生
実施内容

天川小中学校4年生~9年生を対象に、天川村で行っている防災対策や避難所の運営等を学習し、もし災害が発生し、避難所で生活する状況になった時、自分達ができることは何かを考えるワークショップを実施しました。



水害リスクの程度に応じた水災害意識啓発の広報(出前講座の実施)

取組No	大和川	30	紀の川	54	熊野川	-	木津川	-
------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---

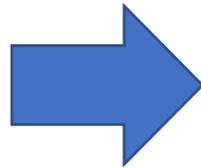
取組機関	上牧町	連携機関	奈良県
------	-----	------	-----

◎取組概要

防災出前講座の実施

【ワークショップの開催】

上牧町では、自分達の命を自分達で守るために、「土砂災害・水害等の地域防災マップ」を作成しながら、地域の危険な場所を教えあい、話し合い、どうやって避難するかを話し合う場を設け、「土砂災害・水害等の地域防災マップづくり」を通して自助・共助について考える機会を作り、防災意識の向上を目的としたワークショップを開催



【ミニ講座】



【マップ作り】



上牧町ホームページ(防災ページURL)
https://www.town.kanmaki.nara.jp/life_scene/bousai_syoubou/345.html

水害リスクの程度に応じた水災害意識啓発の広報(出前講座の実施)

取組No	大和川	30	紀の川	54	熊野川	-	木津川	-
------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---

取組機関	大淀町	連携機関	なし
------	-----	------	----

◎取組概要

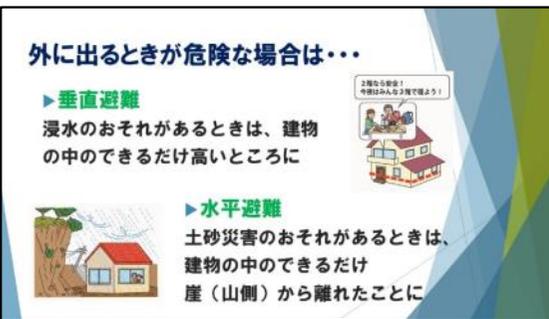
防災出前講座の実施

令和5年度は全国的に水害による被害が多く発生したことから、水害についての出前講座の依頼が多かった。防災の基本的な内容を中心に、水害・土砂災害の危険性、避難方法や情報収集の方法など、より具体的な内容で講座を行った。



工夫した点

- ①令和3年に作成した町ハザードマップを参加者全員に配布。改めて自宅周辺の危険区域や避難場所について確認してもらった。
- ②9月5日実施の防災出前講座では、マイ・タイムラインの様式を配布。その場で、解説を交えながら、参加者にマイ・タイムラインを作成してもらった。



住民参加型の避難訓練の実施状況、今後の予定等の共有

取組No	大和川	31	紀の川	55	熊野川	-	木津川	28
取組機関	宮城県、宮城県岩沼市				連携機関	なし		

参考事例

訓練等行事への参加促進

事例 08 2 1 地区独自の防災訓練において「参加意識」を高める工夫

岩沼市 本町第一親交会自主防災組織

- 本町第一親交会では、市の総合防災訓練とは別の季節・日程に、町内会独自の防災訓練・イベントを設定し、参加者が集まりやすく、楽しみながら学べる工夫を取り入れている。
- 平成30年度の訓練では、一般の住民を対象に、防災に関するクイズ(正解者には防災グッズを進呈)を取り入れ、会場を盛り上げながら学ぶ機会を設けた。平成29年度は、子供の参加と体験を重視し、複数の訓練・学びの場をスタンプラリー式に回れる工夫を取り入れ、いずれもゲーム要素と防災知識を深める取組に力を入れている。

進め方とポイント

①防災クイズ

- 災害時(水害、電害等)に身を守る行動や、消火器の使用法、災害に備えて備蓄しておく役立つグッズについて体験をもとに紹介するなど、ゲームの要素を取り入れながら、学びを深めるクイズを多数用意した。
- 一番早い正解者には、数百円程度の防災グッズを進呈したほか、会場が盛り上がるよう進行や説明も工夫した。



親子で学べる防災クイズ



役立つ備蓄グッズの紹介

②防災スタンプラリー

- 子どもも大人も体験できる訓練として、①ロープ結び、②新聞紙を使ったスリッパ折り紙(地震発生時の足の保護)、③発電機の始動体験、④担架搬送の体験を準備し、スタンプを集めながら4訓練を体験できるよう工夫した。
- 特に、子どもの参加を呼びかけ、スタンプを貯めながら4つの訓練をすべて体験できるよう、楽しみの要素も交えて企画した。

この取組のポイントや「なぜ、できたのか」など

- 防災訓練に住民や子どもが参加してもらえるよう、楽しさや体験を重視した訓練項目を工夫し、クイズやスタンプラリーをほかの訓練項目と組み合わせている。

【出典】宮城県 | 住民参加・取組の促進
<https://www.pref.miyagi.jp/documents/8132/841934.pdf>

住民参加型の避難訓練の実施

取組No	大和川	31	紀の川	55	熊野川	-	木津川	28
取組機関	川上村			連携機関	警察、消防団			

◎取組概要

住民参加型の避難訓練の実施

- 日 時: ①令和6年9月7日
- 参加人数: 644名
(うち村民529名、消防団62名、職員53名)
- 実施期間: 毎年実施

【訓練の流れ】

- ・大型台風の接近により土砂災害警戒情報が発表される。
- ・全村民対象に避難指示を発令。
- ・各地区の避難所に避難する。

【成果】

- ・毎回6～7割の村民が参加し、防災意識の向上に取り組んでいる。



住民参加型の避難訓練の実施

取組No

大和川

31

紀の川

55

熊野川

-

木津川

28

取組機関

宇陀市

連携機関

なし

◎取組概要

指定緊急避難場所「ぬく森の郷」を使った避難所開設・運営訓練の実施

災害発生時の避難所開設を想定し、「避難所の受付と避難誘導訓練」「避難者エリア設定と資器材取り扱い訓練」を実施。

○日 時：令和6年11月16日

○参加者：宇陀市室生地域内のまちづくり協議会役員

◆工夫した点

避難者が長期化した場合、避難所の運営には市民の協力が不可欠であるため、地域を変えて計画的に訓練を実施する。

◆取り組みによる効果

避難に係る知識の一部を知っていただき、集会所や公民館のような自治会レベルでの自主避難所開設に役立てる。



居住スペース設定



簡易トイレ作成



段ボールベット組み立て



パーティションテントの設営

高齢者福祉部局への協議会等の情報提供や、地区防災計画の作成、防災リーダー育成の支援など、共助の仕組みの強化

取組No	大和川	-	紀の川	56	熊野川	30・31	木津川	29
------	-----	---	-----	----	-----	-------	-----	----

取組機関	鳥取県	連携機関	鳥取県内市町村、鳥取県消防学校
------	-----	------	-----------------

令和5年度鳥取県地域防災リーダースキルアップ研修	
開催要項	
1 目的	鳥取県中部地震の教訓を踏まえ、地域における防災活動の担い手となる地域防災リーダー等のスキルの向上を図り、地域防災力の充実強化を図る。
2 日時	令和5年7月15日(土) 午前9時30分から午後5時00分まで
3 場所	鳥取県立福祉人材研修センター ホール(鳥取市伏野1729-5)
4 主催	鳥取県、鳥取市、一般財団法人日本防火・防災協会
5 後援	総務省消防庁
6 対象者	自治会・自主防災会員、消防団員、防災士など地域における防災活動の担い手となる方及び防災に関心のある学生等(100名程度)
7 受講料	無料(事前申込みが必要です。)
8 カリキュラム	
時間	内容
9:30~10:00	受付・事前説明
10:00~10:05	開会・挨拶・事務連絡 鳥取県危機管理局消防防災課、鳥取市危機管理部危機管理課
10:05~10:15	取組紹介 「支え愛マップづくりの支援について」 鳥取県危機管理局消防防災課
10:15~10:25	取組紹介 「自主防災組織員向け基本コース ～救助資機材取扱い訓練について～」 鳥取県消防学校 講師 飯塚 博史
10:25~11:20	講演 「避難行動要支援者への支援」 講師 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山下 弘彦 氏
11:20~11:30	休憩
11:30~12:30	講演 「震災直後の人間心理と行動」 講師 兵庫県立大学 環境人間学部・大学院環境人間学研究所 教授 木村 玲玖 氏 【オンライン】
12:30~13:30	昼休憩 ※昼食は各自でご準備ください。
13:30~15:50	演習 「鳥取県版避難所運営ゲーム(HUG)」 講師 鳥取県災害福祉支援センター 特任参事 白鳥 孝太 氏 鳥取大学 学生防災サークル 鳥大防災Lab.
15:50~16:00	本日のまとめ・閉会
16:00~17:00	本日の振り返り・質疑応答・アンケート記入

1 支え愛マップとは

災害時に誰かの手助け・声かけを必要とする人、声かけができる人、避難先など、一連の情報を盛り込んだ地図

つくることが目的ではなく、地域のことを話し合う中で、「日ごろからのつながり・支え愛」を考えてもらうことを大切にしています。



6 支え愛マップと個別避難計画

避難行動要支援者名簿

①作成主体：市町村

②対象：避難行動要支援者
要配慮者のうち、自ら避難することが困難な者であって、(略)特に支援を要する者

(例) ・要介護度3以上の高齢者
・身体・知的・精神障がい者
・難病患者 ※基準は市町村ごとに異なる

個別避難計画

●避難行動要支援者ごとに、優先度の高い人から作成

支え愛マップ

①作成主体：地域住民

②支援対象：地域住民の気になる人・心配な人(避難行動要支援者を含む)

※地域住民同士で話し合うことは個人情報は問題にならない

【出典】鳥取市 | 令和5年度鳥取県自主防災組織リーダー研修会実施報告書
https://www.nbouka.or.jp/lecture/pdf/2023/report/31tottori_2023.pdf

土砂災害警戒区域に関わる現地での周知方法の検討

取組No	大和川	36	紀の川	59	熊野川	54	木津川	64
------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

取組機関	滋賀県	連携機関	なし
------	-----	------	----

◎取組概要

2. 土砂災害危険箇所以外の抽出・基礎調査

取組項目	実施時期	取組機関
・新たに判明した土砂災害リスク箇所について基礎調査を完了し公表する	2020.3まで	滋賀県

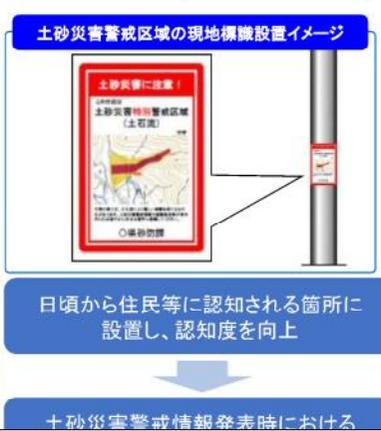
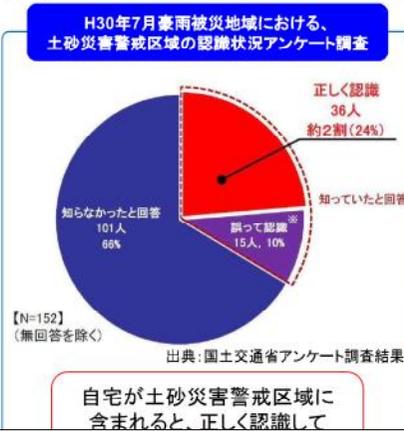
取組の流れ	実施機関
① 昨年度基礎調査を完了、公表した122箇所について、2021年3月までに土砂災害警戒区域の指定を完了する	滋賀県

2019年度 基礎調査実施箇所数	
市町	調査箇所数
彦根市	45
愛荘町	6
甲良町	4
多賀町	67
合計	122

3. 土砂災害リスクの現地表示

取組項目	実施時期	取組機関
・毎年協議会の場において、水害危険性および土砂災害の危険周知について情報共有する	順次実施	滋賀県

取組の流れ	実施機関
① 土砂災害リスクの高い地区や要配慮者利用施設・避難所の付近にある区域を対象として、土砂災害警戒区域等の標識設置を順次実施する	滋賀県



2020年度 標識設置状況



【出典】滋賀県 | 第6回湖東圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会資料2 (令和3年5月31日)
<https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5261564.pdf>

樋門、樋管等の人員等の運用体制の確保

取組No	大和川	-	紀の川	7-2	熊野川	-	木津川	-
------	-----	---	-----	-----	-----	---	-----	---

取組機関	中国地方整備局 倉治河川国道事務所	連携機関	なし
------	----------------------	------	----

◎取組概要

・国土交通省 中国地方整備局 倉治河川国道事務所では、天神川水系における樋門等の管理・操作を少人数で実施している。出水時の作業の効率化を目的に、樋門操作支援ツールが作成された。支援ツールにより、水位情報等の情報集約作業が簡略化された他、作業状況を一元化されたことにより、複数の樋門等を同時に管理することが容易になった。

機能1. 情報の自動収集機能
「データ取得」ボタンを押すと、最新の観測水位を取得し続ける。今までに記録されていたデータ・チェック項目が全消去される。

平常時

河川名	施設名	観測時刻	観測水位	観測地点		基準水位		警報	備考
				実測	標準	警報	標準		
天神川	大瀬第1樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○
	大瀬第2樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○	
	下次江樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○	
	伊勢樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○	
	松田樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○	
大瀬第1樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○		

機能2. 連絡を確実に実施する機能
・警戒体制水位到達をアラート音でプッシュ通知し、連絡遅れのヒューマンエラーを防げる
・各基準水位到達を着色表示し、どの施設で到達したか瞬時に分かる

機能3. クロノロ作成の補助機能
「出勤指示」のチェック項目をダブルクリックすると、警戒体制水位到達のアラート音が停止し、クロノロに「出勤指示」が記録される。

樋門操作支援ツール メイン画面 (平常時)

時間経過

警戒体制水位・退避水位を超過すると「観測水位」が赤色に変化

出水時

河川名	施設名	観測時刻	観測水位	観測地点		基準水位		警報	備考
				実測	標準	警報	標準		
天神川	大瀬第1樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○
	大瀬第2樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○	
	下次江樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○	
	伊勢樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○	
	松田樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○	
大瀬第1樋門	2020/2/20 10:00	3.50	3.50	3.50	3.50	標準	○		

樋門操作支援ツール メイン画面 (出水時)

- ### 活用の利点
- ・アラート機能により、基準水位の到達を迅速に発見
 - ・作業の省力化が可能
 - ・場所を他わず利用可能

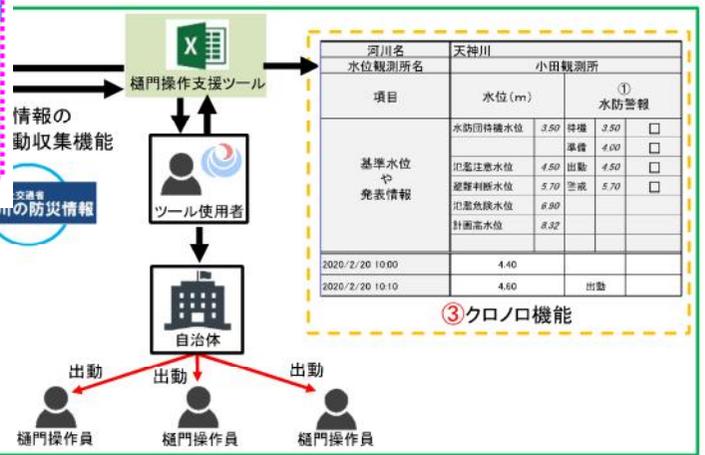


図5 樋門操作支援ツール概念図

【出典】滋賀県 | 河川技術論文集, 第 27 巻 (令和3年6月)
https://www.jstage.jst.go.jp/article/river/27/0/27_PS3-14/_pdf/-char/ja

水位周知河川外における発令基準検討

取組No	大和川	10	紀の川	11	熊野川	-	木津川	-
------	-----	----	-----	----	-----	---	-----	---

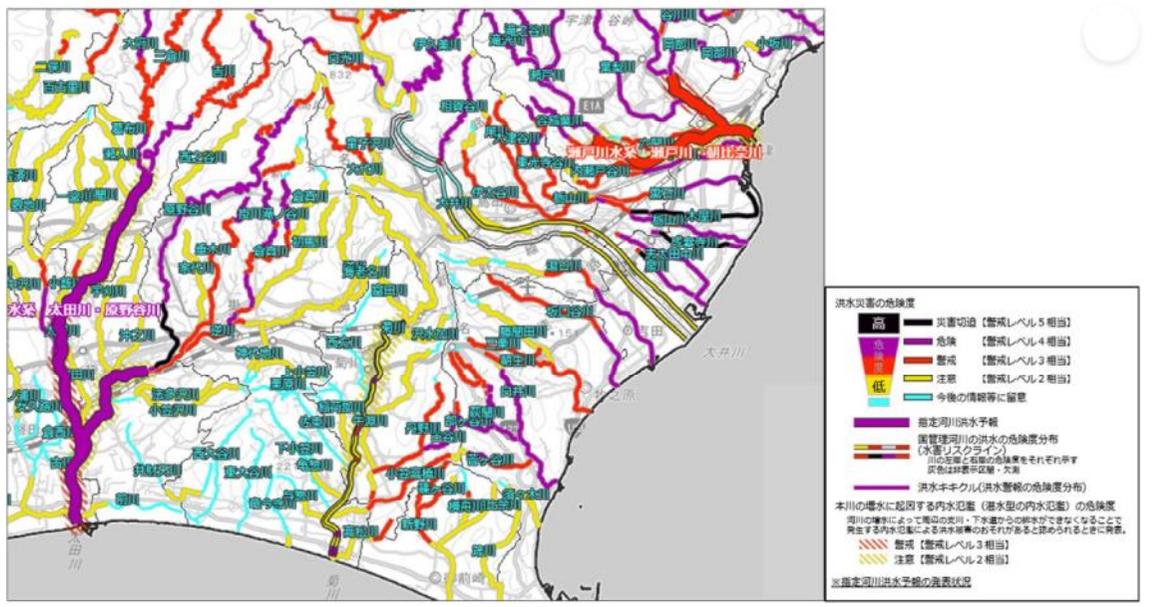
取組機関	五條市、宇陀市	連携機関	気象庁
------	---------	------	-----

◎取組概要

・気象庁が公表するキキクルでは、流域雨量指数※を用いて洪水災害リスクの高まりを評価することができる。奈良県五條市と宇陀市では、このキキクルによる洪水災害リスクの評価を参考に、避難指示の発令を判断している。

基準	基準要素	基準設定手法	
		調査対象期間に災害発生あり	調査対象期間に災害発生なし
警報相当	警報基準を大きく超過した基準	河川流域で発生した外水氾濫に起因する重大な浸水害を高い確度で適中させるように設定。	基準超過頻度を考慮し、 50年確率値 を設定。
	流域雨量指数基準	河川流域で発生した外水氾濫に起因する重大な浸水害を見逃さないように設定。	基準超過頻度を考慮し、 30年確率値 を設定。(調査期間(約30年間)で1回基準超過するレベルに設定)
	複合基準 表面雨量指数+流域雨量指数	河川流域で発生した内水氾濫に起因する重大な浸水害を見逃さないように設定。	設定しない。
注意報相当	流域雨量指数基準	河川流域で発生した外水氾濫に起因する浸水害(警報まで至らない軽微なもの)を見逃さないように設定。	基準超過頻度を考慮し、警報基準の7~8割に設定。
	複合基準 表面雨量指数+流域雨量指数	河川流域で発生した内水氾濫に起因する浸水害(警報まで至らない軽微なもの)を見逃さないように設定。	設定しない。

洪水災害リスクの評価基準の要素・設定手法
(出典:気象庁ホームページ)



キキクルにおける洪水警報の危険度分布
(出典:気象庁ホームページ)

【出典】洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)(国土交通省 気象庁)
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/riskmap_flood.html

改正水防法への理解促進、浸水実績図の公表に向けた仕組みづくり

取組No	大和川	-	紀の川	20	熊野川	27	木津川	-
------	-----	---	-----	----	-----	----	-----	---

取組機関	大和郡山市	連携機関	-
------	-------	------	---

◎取組概要 「災害を「知る」 - 大和郡山市」

大和郡山市が発行するハザードマップでは、水害編において浸水実績図を公表している。
市は、「過去の災害に学び、これからの災害に備えること」を呼び掛けている。

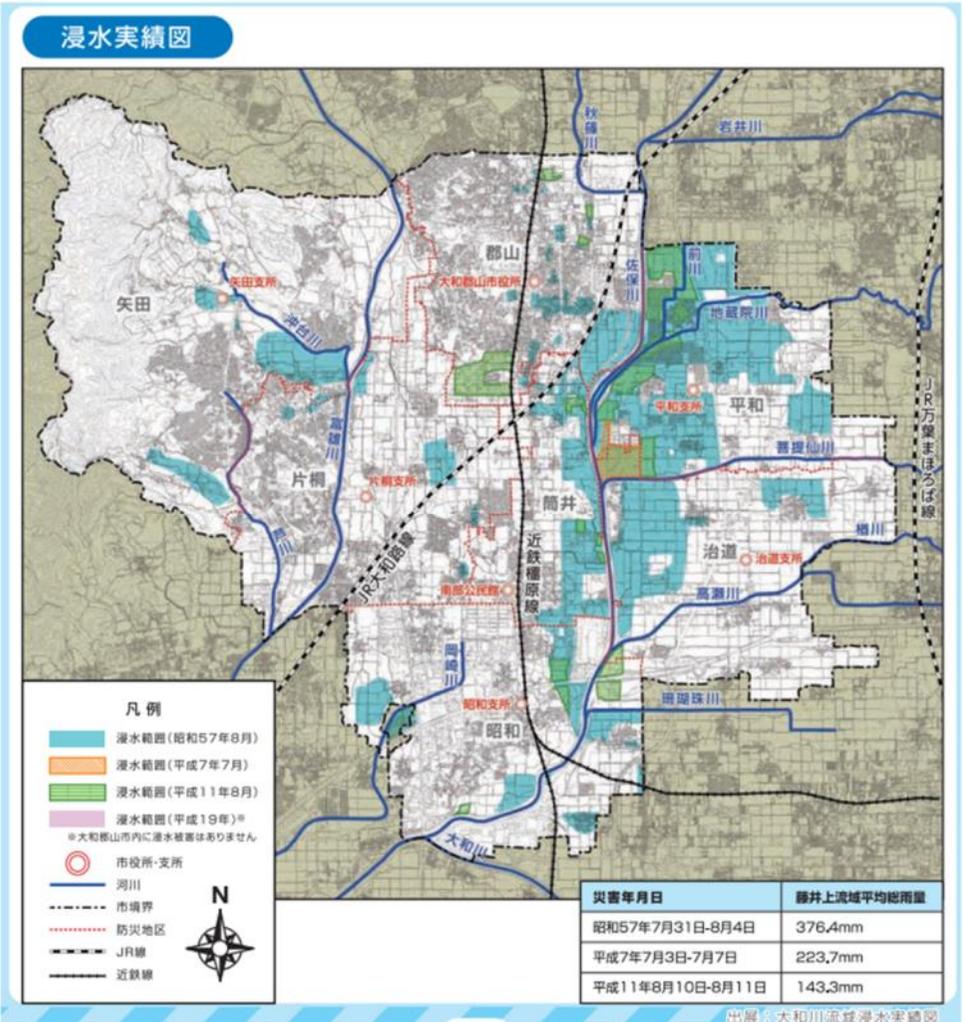
大和郡山市で起きた過去の水害

過去の災害に学び、これからの災害に備えましょう

大和郡山市で起こった浸水被害のうち、特に被害の大きかった浸水範囲を図示しました。

過去の浸水被害は、道路側溝が雨水でいっぱいになりあふれた場合や、洪水で河川の水位が高いために、小河川や水路などから排水できずにあふれ出した雨水によって起こっています。これを内水（河川に排水できずにあふれた水）はん濫といいます。大和郡山市では、特に佐保川付近で被害が多く見られます。

日ごろから身近な道路側溝の清掃をしたり、大雨時には河川や水路に近づいたりしないようにしてください。



【出典】大和郡山市HP
<https://www.city.yamatokoriyama.lg.jp/material/files/group/5/suigai.pdf>